



発行所 青山同窓会 新潟市関屋下川原町二 新潟高校内 印刷所 オリオン印刷機 0252-83-2151

# 又会えるしあわせ

青山同窓会会長 鍵富清一郎



暑い夏、同窓会の季節がやってきました。今年もお互いにこうして元気な顔を合わせられて、幸せですね。同窓会がさかんになることは喜ばしいことで、皆さんも若くがえるし、学校も若がりえます。

## 随想

▲青陵祭が六月中旬に催されるようになって久しい。「ここ数年陰暦によるかのよう」に「水無月」。本年も抜けるような青天に見守られての青陵祭は十五日だった。今年には市内のかんりの数の高校が同日に運動会を催したため、観客の大半は各高校の父兄、OB、それに高校生予備軍としての中学生だったようである。当然のことながら隣の中央高校生の姿は本校グラウンドにはなかった。

# 就任のごあいさつ

県立新潟高等学校長 本間 忍



本年四月一日付で藤田久喜前校長の後任として着任いたしました本間でございます。本県中等教育の中核的牽引的存在として、十八年の輝かしい歴史と伝統を誇り、現在の日本並びに新潟県を背負って立つ多数の優秀逸材を輩出した名門校の第二十二代校長を命

ぜられ、その光栄に感激すると共に、課せられた責任の重大さを思ひ、身の引き締まるのを覚えます。浅学非才の身、よくこの任に堪えられるかどうか、いささかの危機も感じますが、私の生涯をかけて教育という仕事の最終決算のつもりで、日々全力投球をしてみたいと存じています。同窓の皆様方の格別の御指導御叱正を切にお願いいたします。

この目には見えないが、一筋の大河のような流れ、これが、本校の偉大な無形の財産であり、生徒を教育する原動力となるものであることを、ひしひしと身に感ずるものであります。私は、過去に新設校一回、校歴四十年の学校を一回やり直したが、それらはそれなりに目標や課題があり、やり甲斐もありましたが、本校のこの特色は他に類例を見ない貴重な精神的資産であります。この伝統の流れをさらに太く、長くして次の代に引き継いでいく、そこに私の使命があるかと思えます。明後年は創立九十周年を迎えます。重ねて同窓の皆様方の一層の御指導御支援をお願いし、就任のあいさつといたします。

## 母校 昨今

▲最近気づくことだが、本校生は中央高校をあまり意識しなくなってきたりするようす。それもそのはず。女子入学生がこのところ急激に増加しているのである。因にその校は男子絶対優位の体制でトイレが配置されている。新一年の女子生徒の中には、「あまり水を飲まないようにして登校する」と親からの苦情。学校側は職員便所を開

放して救済措置。ところが、「女子だけに開放するのは」と男子が口をとがらす。トイレ争奪戦は増々エスカレートしそうな形勢である。

▲昭和11年、男子が「女を放して救済措置。ところが、「女子だけに開放するのは」と男子が口をとがらす。トイレ争奪戦は増々エスカレートしそうな形勢である。」と親からの苦情。学校側は職員便所を開

▲昭和11年、男子が「女を放して救済措置。ところが、「女子だけに開放するのは」と男子が口をとがらす。トイレ争奪戦は増々エスカレートしそうな形勢である。」と親からの苦情。学校側は職員便所を開

▲昭和11年、男子が「女を放して救済措置。ところが、「女子だけに開放するのは」と男子が口をとがらす。トイレ争奪戦は増々エスカレートしそうな形勢である。」と親からの苦情。学校側は職員便所を開



### 昭和55年

## 教職員異動

校長	藤田久喜	退職
事務局長	清野真司	退職
全日制教諭	大橋禎助	新潟高通信
数	鈴木政光	安塚高松之山教頭
理	小泉英雄	県教委係体課
体	高井輝芳	両津高
国	浦壁英紀	新潟東高
数	山中直樹	新潟東高
体	白石美津子	佐渡農高
英	村山保	船江高事務局長
主任	飯塚優子	新潟東高
主事	山口次郎	退職
用務	本間忍	新潟南高
転入	小島一男	県民会館
校長	中村新平	新発田高
数	金井芳夫	新潟南校
理	打越輝郎	新津工高
体	川上良夫	新潟南高
国	大橋禎助	新潟高全
数	山田 稔	豊栄高
体	水落義樹	江南高
英	本田 礼	新津高
主任	高橋ナエ子	企業局電気課
主事		

〈追悼〉

小柳誠さんを憶う

青山同窓会副会長

38回 等々力英男

明年秋の開通を予定している上越新幹線工事を始め、陸・海・空にわたる交通体系の整備に伴い、新潟市の流通問題は一段とその厳しさを増し、大型店進出をめぐる流通業界の動きは頓に活発化してきている。このような情勢をふまえての商業活動調整協議会(商調協)の運営を思う時、私はいつもお元氣だった頃の小柳誠さんの面影を想い出す。昭和四十九年、商調協設立当初の副会長として、その道つけの運営に心を砕いておられた小柳さんを見て、ムリヤリ氏を引つ張り出してお願ひした私は全く最適任の人材を得たことを喜んだものであった。小柳さんの誠実な人となり、人々に感銘を与え、問題の一つ一つを解きほぐしていったものではなからうか。

その小柳誠さんは今は亡い。小柳さんが病を得て入院されたのが、たしか去年の四月であった。満六十五才の惜しい生涯を閉じられたのである。この間、昭和四十五年には地元経済会の衆望を荷負って商工会議所副会長に就任され、再び私の心を許した相談役としてお助け頂いたことは、鮮明な記憶として私の脳裡に残っている。このように、経済界に重要な働きを残しながら、生来、控え目な裏方に徹する奥ゆかしいお人柄から、その輝かしい功績はあまり人目にふれないでしまっている。「会津八一記念館」の建設にあたって

若山牧水の「白鳥はかなしからずや」の歌碑のある長沢海岸は今の私の家から歩いて二分の距離である。春の暖さにひきしぶりに浜に出てみた。シーズンが始まるので市がシャベル・カーで砂浜を清掃した跡がハッキリ見える。汀線に沿って散歩した後、岩にこじかけた。海は静かで今日は房総の山々は見えなかった。海が穏や



の日夜にわたる献身的な活躍なども全く人に知られていないが、小柳さんはひそかに何処かで、ひとり満足の笑みを浮かべながら心静かにながめておられるのではなからうか。小柳さんはそんな方であった。私が常に心の友とし、心の師とも思つて接した所もここに

かな日は鴉は少ない。人影も週日のせいかなかった。海を眺めていた私の頭にW・アリンガムの英詩が浮んで来た。  
"A grass bank beyond  
A blue sky of spring  
White cloud on the wing  
What a little thing  
To remember for years  
To remember with tears."  
(向う岸に草地 春の青い空 とんでいる白い雲 小さいこゝとなのに 長年覚えてる 思い出すたび涙が出る) 英詩をくり返しているうちに、新潟中学時代の小室田三先生(後年、旧制山形高校教授になられた)の作文の時間が思い出された。先生の第一回の授業であつたと思うが、先生はいきなり黒板に、春、雲、草、花、牛、鳥、川など十個の単語を書かれて、これらの語を用いて作文せよ、全部同時に用いても、一つ一つでもよい、和歌(当時はまだ短歌ははやっていなかった)でもよい

春日断想  
海潮音

「そうす」互いに手を握り合つた。「博士、私は神に感謝します。私はあなたに会う事ができました。小田島先生の舌端火を噴くがごとく、側々と私たちの胸をゆりうごかした。先生はクリスチャンであられたかはつまびらかにないが、たしかに信念の士であつた。頑童たちの心をつつ教授振り、話し方であつたで先生に「救世軍」という愛称を奉つたことでも這般の事情がうかがわれるでしょう。惜しいかな先生は六十七、八年のスペイン風に倒られた。先生の面影は今も記憶にあざやかに残っている。

最近のニュースから

衆・参同時選挙行わる。

去る、6月22日行われた、戦後始めての、衆、参同時選挙に於て、本県、衆議院、第三区では、39回、阿部助哉氏、52回、佐藤 隆氏の両氏がめでたく当選されました。同窓の両氏に心からお祝い申し上げますとともに今後の活躍を期待したいと思います。

「ごころうさん」等々力氏

新潟商工会議所の会頭として、昭和45年以来、約十年にわたり、新潟経済界の発展につくされて来られた、我が同窓の38回等々力英男氏は、この度、六月二十日の商工会議所議員総会に於て、「新潟の経済会に新風を吹き込んでもらいたい」と、後進に道をゆずられ、退任されました。長い間何かと、ご苦労もあつたことと思われま

いとのごとで、私の心は躍動した。さて鉛筆をとる段になると、種々の情景が浮んで来て仲々まともになつたが、それでも短歌がましい短文を十個作つて提出した。選んできた答案を見ると朱の丸印の数の少なかつたのに失望した。新入生の私は短艇部に入つた。クルーの氏名と練習日が掲示場に貼り出された。一般部員は上級下級生の混成であつた。白山公園の上手にボート部発着場があつて、そこで艇に乗込むのであつた。最初は川を下るので楽であり、殊に万代橋の下を漕いで過ぎるのは得意であつた。墨堤のボート競漕のころなど思い出しながら。しかし佐渡川の発着場付近からコースが変わって溯航することになつたが、一年生は私だけ、他は上級生、私はついに權をとられてどうしてもオールをもとせず、力つきて両腕を組んで観念していたら五年生の艇長にどなられた。皆が漕ぐのを止めてくれたので、ようやくオールの練習で尻の皮がやぶれ血がズボンにしみついたことを覚えていた。その後、母の病氣などのため、いつしか退部してしまつた。後年、東京で新中の大先輩会津八一先生の遺品展覧会で、先生自筆の「短艇部退部願」を見て、秋仲道人も短艇部員であつたことを知つた。遠い昔の物語。

昨夏、内村鑑一先生に献呈された政池正氏のリヴィングストーン伝を読んでいたら、世界地理を教

て頂いた小田島先生の面影が浮んで来た。暗記物に弱かつた私は、下級時代は地理はきらいであつたが、小田島先生によつて地理の勉強の仕方や面白さを教えられた。先生はたとえはフリカを教えられる時は、先ず黒板に白地図をかかれ、山脈、河、河に沿つた都市など記入されながら、地勢と人間の生活などを説かれた。口辺に黒い髭を蓄えられた先生は小柄で口調は一種独特のものであつた。慷慨世の氣があふれていた。アフリカ奥地探険のリヴィングストーンとスタンリーの歴史の会見の件りを語られた先生は感慨にふるえてささおられるように感じた。「白い髭の白人」彼の額は蒼白、疲労と衰弱の様子。スタンリーは静かに帽子をとつていた。「リヴィングストーン博士」だと思ひますが「そうす」互いに手を握り合つた。「博士、私は神に感謝します。私はあなたに会う事ができました。小田島先生の舌端火を噴くがごとく、側々と私たちの胸をゆりうごかした。先生はクリスチャンであられたかはつまびらかにないが、たしかに信念の士であつた。頑童たちの心をつつ教授振り、話し方であつたで先生に「救世軍」という愛称を奉つたことでも這般の事情がうかがわれるでしょう。惜しいかな先生は六十七、八年のスペイン風に倒られた。先生の面影は今も記憶にあざやかに残っている。

(28回村田汎愛)

# 思いをばらばら

35回 近藤 百之

二十五、六年前の同窓会誌に、「師恩賦」という短文が載っています。あの作者がこの筆者なのです。「子曰く、三尺去つて師の名を呼ばず。されどアダンは忘るべからず。」に始まり、「……教頭モン下舎監長は話せる男、白山祭は十時まで外出を許す。……カバ女学校教師のクセ中々とれず。教室の天を仰いで落花の雪に踏み迷う。舎監長に突進して生徒にいじめらる。雨もり事件は大正十四年初秋の頃か。オイワ、カバの身代りとなつて濡れたり……」文中の「雨もり事件」が後世に伝わる例の一件です。オイワとは数学の長内先生。カバの身代りとは舎監勤務のうち、寢床にもぐつて眠るのだけ代行されたのであります。つまり六時から八時半までの自習時間中の巡視監督。さらに八時半の点呼はカバ先生が勤められたのです。お泊りもカバ先生と思うのは理の当然であります。ところが如何なる理由か、オイワ先生がお泊りになつたのです。夜半丑三つ時におかけした水量は、ノメシ雑布用の大バケツですから、並のバケツの二、三倍はあつたでしょう。注水箇所は舎監室六畳間の真上、第七号室の畳一枚をはぐつた所らしいです。オイワ先生熟睡の布団はぐつしより濡れました。翌朝、舎監

室前の青桐に綱を張り、黙々として小便さんと布団を干しておられたオイワ先生のお姿は、崇高且つ愁傷の極みでありました。それ以後カバ先生の執念は燃えに燃え、昼夜をわかつて犯生捜査のスパイ活動が続いたらしいのです。げに口は禍のもと。恐るべきは蟻の一穴、日ならずして全貌露見。ここまでではまあいいとしましよ。そこで冒頭、師恩賦所載の「モンド舎監長は話せる男、白山祭云々」に注目すべきでありました。モンド鈴木舎監長先生は大正十三年、村松中学校長に栄転。もし鈴木先生だつたらどうなつたらうと、皆々感を深くした事でした。この一件の淵源また実はこのに存すと史家は断じ、両舎監長の性格・信念・教育方針・生徒指導・勇氣・実践・愛情・保身等々の若干の差を、後世の教育者は論評しているのではありません。

閑話休題。ばたばたと処分が決定され、首謀と見られた生徒は最も重い即時退学。以下応分の処罰が行われました。ゴマザル名和校長先生、退学宣告の席上、「お前は即時退学だ。ついでにこれからどうする？」「新聞記者になります。そして新潟中物語を連載します。半年ぐらいは続きますよ。」堂々たる答申、胆力メの如き度胸、さすがは青陵健児の真面目を見られましょう。ガタガタふるえなきつたのは校長先生です。「それだけ……」と絶句沈痛の態。再審の結果、罪一等を減じ無期停学。もともとこの生徒、カバ先生に水を注ぐ筆はヤメレヤメレと止めなされたのです。それを血気にはや下級生は、われ大事をなすは今夕にありと意気こんで決行したというのが真相なのです。頑童悪なりといえども、河馬は水に住むものなどとは思わなかつたでしょう。無期の生徒の書隠れ数日、全舎暗たんの気におおられたのでした。

そもそもこの一件は、もとより退学処分などに値しないもの、単なる中学生のいたすらに過ぎないものでしょう。笑つてすますとまでは申しません。世、汗流なきに非ず、正氣時に光を放つ。なにも教育を破壊しようの、教師を抹殺しようなどという大それたものではなかつたはず。坊っちゃん先生のイナゴぞなもしと一般であります。明治封建の世にして一人の退学者を出さず、いわんや大正デモクラシー時代に於てを。偉なるかな漱石先生。筆者と同意見の先生は、当時多勢おられたはずであります。とくに志を立てて家郷を出で、他郷苦辛を物ともせず同袍相親しんで勉学している男兒の舎です。ゆとり教育、ドライブレは大事なカリキュラムなのであります。閑屋の無花果、念仏寺の桃、金魚の味噌汁、赤犬のジツ鍋、差通いの用務員愛育のオモトメジロ退治、炊夫の一物しばり、

運動会万国旗頂上の日章旗の炊婦、桃色腰巻の代揚、隣家婚礼の応援等々枚挙にいとまありませんが、何一つ意趣遺恨から出たものはないのです。やや例外的なものは舎監長官舎黒板崩のし尿塗り、さらに舎監長愛娘高女生に北光社支店の百枚十二銭のハトロン封筒に注尿して氷のう(尿のう)を作り、これをぶつつける遊びぐらい。退停の処罰を受けた生徒は一人としてありませんでした。せいぜい訓戒止まり。かれを見、これを考えますと、あれがどうしてあつたのかと、気の毒で、不思議でなつかしい限りであります。寄宿舎は昭和一けたで廃止されたにブルが出来たと聞き、何かの記念物のように思われまして。茫々五十有余年、有難きかなわが母校。なつかしきかな新中寄宿舎。ここぞ人間形成の一大道場、受恩の聖庭、感謝措く能わず、あわせて師恩の厚きに涙する古稀の恍惚、記憶薄弱、お詫び申し上げます。

南米での機械化農業視察の途中、サン・パウロ市で同期でボクシングをやつていた駒形秀雄君と会い金髪美人の奥さんと三人の子供達の歓待を受け、旧交を暖めて参りました。彼は昭和二十四年に移民としてブラジルへ渡り、現在丸紅ブラジルの機械部長として活躍しています。君知事来伯の折、連絡がとれたので、近くの四十回卒で水泳部におられた相田博先輩のお宅へ伺い、マンジョリ煎餅を頂きながら青山同窓会の近況を話して参りました。相田さんは、昭和八年にノロエステ地方の日本語学校員として渡伯、本年総領事館より教育功労者

## 南米よりいんごんごちわ

セーザンペンペンゴ  
ブラジルへいらっしやい

60回 小林 亨

(株)コバキ社長

## 青山ボート部 OB会

青山艇友会幹事長 渡 研 二  
75回

人が、技術系大学生の二十五%を占めている一例からも活躍が想像されます。政治的デモクラシーの確立の前に人種的デモクラシーの確立したと云われるブラジルで、二十五%の人が非日系人と結婚し、日本人ではなく、日系ブラジル人として頑張っている事実を、各入植地、大学での懇談会等で認識し、理解の足りなさを痛感しました。日系人だけで五千万ヘクタールの開発計画を推進し、世界の食糧危機を救うと、情熱をこめて話される人達から、我々が忘れかけている人間としての夢と情熱を自覚めさせられました。ブラジルは未来の国、可能性の国です。一度お出下さいとの伝言でした。



第35回青山艇友会定時総会

OBが出席。来賓として鎌富清一郎同窓会会長の出席を賜り、総勢三十四名の多きに至る。盛大、有意義。近年、現役の活躍する声を聞かない。淋しい限りである。信濃川艇庫の周囲に土砂が堆積、練習もにわたるOBが出席。来賓として鎌富清一郎同窓会会長の出席を賜り、総勢三十四名の多きに至る。盛大、有意義。近年、現役の活躍する声を聞かない。淋しい限りである。信濃川艇庫の周囲に土砂が堆積、練習も

# 同窓生の思い出

42回 菊地 勲  
(船山株式会社)

同窓会、同窓生という年の故  
か知らないが、何か理由なしに血  
がツながっているような温か味を  
感ずる。

同窓生ということで、旧聞に属  
するが忘れられない思い出を述  
べてみたい。

戦争中のことであるが、昭和十  
三年に初年兵として満洲へ渡った。  
当時の古参兵は北支の激戦を終  
って、帰って来た荒武者ともであ  
った。

その中で中隊でも屈指の猛者に  
星野隆一さんがいた。  
彼は青山の先輩で、在校時代、  
柔道部の黄金時代を築いた猛将で  
あった。

その人が私の戦友となった。  
戦友に対して初年兵は身の廻り  
の世話一切をしてやらねばならな  
かった。

それが同窓の後輩ということで  
目をかけてもらい、「お前は俺の世  
話なんかしないでもよい。その暇  
があつたら勉強をしていろ」とい  
って一切の世話をさせなかった。

彼はその後、ガダルカナルの戦  
闘で壮烈な戦死をされたとのこと  
だったが、今でもあの時の彼の親  
切は忘れることができない。  
また、昭和十八年に昭南島(今

つて来た。  
皆かつての青陵健児であった。  
目に涙を浮かべ乍ら、引続いて  
応援歌を歌った。  
今全部の名前は覚えていないが  
一期下の笠原恵吾君のいたのを覚  
えている。

遠く祖国を離れた異国で同窓生  
に会い、語り合い、励まし合った  
感激も忘れられない。  
同窓生という丈で、「ヨウ」とい  
えば、「オウ」と返ってくる。これ  
が同窓生のよさである。

世代は移り替ったが、経済大国  
日本ともなれば、今でも世界の何  
処かで同窓生同志が落ち合っ  
てお互に励まし合い、力になり合っ  
ていることであろうし、またそ  
うあつてほしいものだと思つて

## 「新潟火魔人会のい」と

67回 星 允  
新潟市民病院医師

「火魔人会」は「カマジンカイ」と訓むのが正しい。そのココロは「火の如き熱き情熱と正義感を持つ、魔人の如き行動力で人生を生きよる」という気高い理想に通じるのである。当会の綱領と会則(確かそういうものがどこかにあつたと思うが)にも「吾人は須らく邦家ト人民ノ為ニ身命を擲ツテ行動セザルベカラズ」とか何とか書いてある(善である)。それを無

の集いのようなものを聞き、世の識者に訴えて行き度いと考えている。  
さて、暇人会(暫く俗解に依る)は「新潟高校の卒業生及びその配偶者、並びに三親等内の親族、又はこれらと無関係なもので、入会を希望する者」を会員とする。(つまり誰でも入れる?)行くゆくは世界各国の県庁所在地に支部を置きたいと考えているが、当面の会員は総て日本人で、新潟市内及びその近郊に居住し、不忠議なことに新潟高校の卒業生とその配偶者で占められているのは偶然にしても面白い。当会は会員相互の親睦を図る為、各種の行事を催して来



白眉は矢張り年に二回行なうタン  
スパティーにつつま。このパー  
ティでは美貌を誇る中年婦人、星  
豊子(つまり愚妻)を中心に、  
君英夫、中野仁、永井健司(以上  
67回卒)、長谷川道夫(75回)など  
といった連中が、バンドを組んで  
素人顔負けの演奏をするのが毎回  
の呼び物となっている。これには  
その都度東京から駆けつけて来る  
物好きもいて、そいつの勤め先は  
余程暇であるに違いない、などと  
取り沙汰されている。

# 長い裁判

75回 石田 芳博  
(弁護士)

よく依頼者から裁判はどれ位時  
間がかかりますかと聞かれる。事  
件を依頼する者が最も知りたいこ  
とである。  
この間に對し、残念ながら正確  
に答えることのできる弁護士はい  
ないだろう。

大概、長ければ二年から五年、  
早くとも一年位はかかりますよと  
返答する者が一般である。物価の  
上昇との関係で裁判の決着がつく  
頃には、多少の利息がついたとい  
ても、当時の価値はなくなってい  
る。

何故、裁判が長期化するのかと  
質問されれば答は明白である。裁  
判という国民的サービスに国が不  
当に手を加えている。

当会は漸く世間の理解を得つつ  
あり、会員も増加の一途を辿つて  
いるので、将来は征谷小路か、東  
中通りにビルでも建てて(理想を  
云えば今の日銀の位置が望ましい)  
専従の女子従業員を十人ばかり置  
いて運営して行き度いと考えてい  
るが、今チヨット忙しいのでそ  
らに手が廻らないのが残念だ。従  
って入会希望の諸子は、当面拙宅  
へお電話下さい、声のキレイな  
美貌の中年婦人が応待に出る筈で  
あるので、ふるって応募されたい。

★同窓会の当日、また、インク  
のよかわかぬ会報を届けて、や  
つとホツとする。いつ頃から、私  
が、印刷にたずさわる様になった  
のか、大部遠い話になったよ。  
当時(約十年前)、故人とな  
られた齊藤希氏氏が幹事長で、会  
報の必要性を力説され、自ら編集  
長でがんばっておられた。最初は  
氏の情熱にひっぱられ、ギリギリ  
のタイム寸前まで、ああだ、こう  
だと割付して、印刷した。いつの  
まにか編集部の一員ということに  
なり、氏なきあと、今では校内幹  
事の上杉氏と岩田氏を交えて、  
何とか形づくっている。本日に読  
者、会員諸兄に喜んで読んでら  
つてゐるのか、心配もある。最近  
若い同窓の婦が多いと聞く。願  
わくば、若き俊才、乞 御寄稿。

編集後記  
(67回石田瑞穂)

暗躍はこのひずみの中から発生し  
ている。  
時代の最先端での活躍が期待さ  
れているというのはいしりである  
ろうか。  
遅きに失した感はあるが、弁護  
士会もようやく重い腰をあげて改  
革に乗り出したようである。  
弁護士にとり法廷は活動の場  
である。法廷の長期化への苦情は裁  
判所ではなく弁護士に向けられて  
依頼者への弁解に苦慮しているの  
は私一人ではあるまい。  
月にロケットを飛ばす時代に、  
「武士は食わねど」等とのんきな  
ことは言つてはられない。

キャンパスだより〈特集〉

ラグビー

北信越優勝の歓

部長 59 回 関根 彰 圓 (本校教諭)

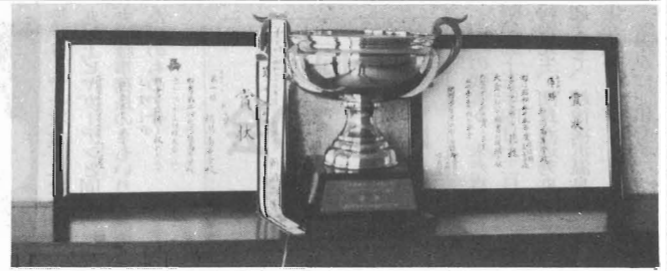
高く理想を追うならば、国体や全国大会での勝利が望まれもしましう。しかし今の新潟高校としては、最高峰の頂きを極めた歓びに満ちています。

北信越大会、優勝!!

昭和39年山口国体出場以来、17年ぶりの壮挙に現役、OB、ひとしく感慨の新たなる事を禁じ得ません。北信越大会のラグビーは、諸事情で実施が伸び伸びになってきた。ようやく今年第一回が富山で開催された。五県より8校、近県2校、遠県1校が参加するが、激しいラグビー競技は一日一試合



が原則で、日程、目のため抽籤でA・B両ブロックに分け、同一県は対戦しない方式で優勝校は二つとなっている。この予選を兼ねた県総体では、新発田商工を59-0、水原を49-0と降し、準決勝は三年間苦杯を喫して来た新潟商と対戦した。後半、サイドの甘さから2トライはされたが、全般に新潟ペースで試合は進み、19-8と勝ち上がり北信越の出場権を得た。決勝は五年ぶり新潟との対戦で彼の強力FWをガツリと組みこたえて四ツ相撲をとった。ことに前半は素晴らしいオープンプレーでトライし、更に再三逆転のチャンスもあって新潟工の心胆を寒からしめ、10-4で折返した。後半戦、力及ばず20点を許したが、この一戦は選手の自信を固めた。さて芝の富山ラグビー場は、曇天ながら良馬場、新潟はBブロック、新潟工はAブロックで大会に臨んだ。緒戦は昨年優勝の魚津工に大勝利意気上るの砺波で、富山県最強チームとして当然優勝を狙って来た。前半の砺波の猛攻すさまじく、新潟はほとんど自陣でのタックルで耐えに耐え凌いだ。しかもこの気力が少ないチャンスを得点に結びつけ13-0で折返し、後半は一進一退、16-14と接



戦したが、ついに砺波優勝の望を断った。決勝は強力FWの下、伊那農(長野)であったが、鬼気迫る新潟の気魄はこれを押しまくり猛タックルで相手の動きを完全に封じた。攻撃には一つのミスもなく、心にくいまで走り廻った。ことに後半中頃、自陣25Mから左オツチに出されんとしたボールをかくらなくもつないで、右オツチに廻してトライしたプレーは快心の出来ばえであったと言えよう。かくして後半2PGを支えたが、ほとんど完璧の試合で29-6と優勝を飾ったのである。新潟工が破れてアベック優勝は逸したものの、新潟のラグビーは是処に在りの大会であつた。来年こそは新潟工を倒しての優勝をと、次なる一歩を進めたい。

汗と笑い 成人高校生 夜の青春

〈新潟日報より〉

新潟高校通信制、レーボール部が今年も「全国定時制、通信制、レーボール大会」出場を目指している。昨年は全国大会に出場したものの、予選リーグで敗退。だが異色のチームとして注目された。平均年齢24・2才、定時制チームがほとんど十代の選手で占められているのに比べ、高年齢者ぞろい。仕事、勉強、スポーツ、そして家庭、通信制に学ぶお兄さん選手、パパさん選手、たちは、何を求めて白球に立ち向かっているのだろうか。

また大会出場に際して諸先輩より多大の御助力を得ました事、あわせて御礼申し上げます。夏合宿は7月28-31日、胎内ロッヂで実施します。一層の御指導をお願いいたします。

あつた。来年こそは新潟工を倒しての優勝をと、次なる一歩を進めたい。この勝利は長年にわたる先輩の連綿たる努力の集積と、池田、山中両先生の御指導の成果であり、また大会出場に際して諸先輩より多大の御助力を得ました事、あわせて御礼申し上げます。夏合宿は7月28-31日、胎内ロッヂで実施します。一層の御指導をお願いいたします。

う雰囲気が出て来た。大のおとなが10代の少年を相手にまじめにバレーの試合をするとは、はたから見ればこっけいなことと見られるかも知れないが、彼らはそんなことは意に介さない強さも作り上げて来た。「この真剣さは他の面にも波及、レポート提出を怠っていた部員がちゃんと提出、進級もできるよになった」と学校側もバレー部を暖かく見守るようになった。「ともすれば脱落しそうな部員が出て来るとみんなで励まし、助け合って引き上げる。そんな和が生まれてバレーも強くなった」と高橋さん。「練習を見に来る生徒もいて、彼らも自然と熱が入らざるを得ない」(石崎教諭)状態だ。土曜日の練習が終わると、酒をくみかわしながら、夜のミーティング。「冗談、好き勝手なこともいい合う。悩みごと、恋愛問題など、徹底的に議論し合うのが楽しいんですよ」とメンバー全員が朝まで付き合う。ケンカになったりすることもあるが「根に持たず」(森山さん)翌日のスクーリングはスカッとした気分で開催するぞうだ。

■本年度主要大学 合格状況

国立大学小計 310	静岡薬大 2
北海道大 4	都留文科 2
東北大 31	
山形大 6	私立大学小計 616
筑波大 4	早稲田大 72
千葉大 4	慶応大 52
東京大 7	中央大 51
学芸大 8	東京理大 46
農工大 4	明治大 38
お茶水大 5	法政大 32
東工大 3	日本大 28
横浜国大 6	青山学院 24
一橋大 8	立教大 23
新潟大 188	専修大 22
京都大 7	上智大 17
金沢大 2	明治学院 15
名古屋大 2	同志社大 14
公立大学小計 14	立命館大 12
高崎経済 2	東京経済 11
東京都立 4	芝浦工大 11

■今春の 高校入試から

妻帯者は森山さん、高橋さんら4人。奥さんたちもそんな夫を無理に解、高橋さんの奥さん、子供2人は練習まで付き合ひ、パパに声援を送るほど。がんばれ、成人高校生。

☆☆☆ この記事は、6月18日付新潟日報に掲載されたものです。

新入生 男313名 女138名  
 二年生 男332名 女116名  
 三年生 男321名 女121名  
 今春の入試でも右のように、女性の進出がますます、各学年とも約三分の一を女子が占めるようになりました。

